

2011年4月29日

2011年度科研費「国連GCの課題」研究チーム合同研究会

第3回日中韓研究者会合（東京大会）の進捗状況報告

菅原絵美（大阪大学大学院）

1. 概要

(1) 第3回日中韓ラウンドテーブル会議（GC-JN事務局が担当）

日程：2011年11月24・25日（木・金）

会場：国際基督教大学（東京・三鷹市）

(2) 第3回日中韓研究者会合（法政大学GC研究センターが担当（適宜GC-JN事務局と調整））

日時：11月24日午前（予定）：3.5時間

使用言語：英語

大会運営：ランチ、飲み物は主催者が提供する。

会場の設定及び当日の進行は日本側主催者（法政大学GC研）が責任を持って行なう。

自費参加。参加する研究者には法政大学国連GC研究センターより招待状を送付。

アジェンダ草案：2部構成

第1部：CJK Joint Research Session：90分

共通のテーマを設定し、三国から研究成果を持ち寄る。

第2部：Knowledge Sharing Session：（1カ国30分、全体で90分）

各国でそれぞれ研究テーマを設定し、成果を持ち寄る。

30分の時間厳守であれば、30分の構成は各国の自由。

◎日本側は日中韓共同研究の成果を発表予定。

2. 大会運営の進捗状況

2010年末（？）：GC-JN事務局から第3回日中韓ラウンドテーブル会議の日程等の連絡

2011年4月1日：GC-CN訪問し、研究者会合の大枠について合意。

2011年4月14日：GCソウル研究センターにメールにて提案、大枠について合意。

2011年5月末：韓国訪問の際にソウル研究センターを訪問予定。

3. CJK Joint Research Sessionの共通テーマについて

日本側から三国合同研究の共通テーマについて下記の通り提案し、韓国・中国から合意。特に(2)が有力。韓国側から2つ追加テーマ(3)(4)の提案があった。

*テーマをひとつに絞り11月会合に向けて研究を進めてもらうよう連絡。

①Human Development（SCMにおける取組みも含む）

②CSR in natural disaster and other emergency situations

災害後半年を経ているので、日本の状況はよく見えていると思われる。また、中国の四川大地震後の企業社会の変化についても学びたい。

③Implementation of WEPs(Women Empowerment Principles)

④Social Enterprise

4. その他

韓国側から2012年に行うCJK Global Compact Surveyの相談をアジェンダに設定してほしいとの依頼があった。